

1 (2) 機能・事業		
	機能・事業に対して意見、要望のあった項目	スポーツ科学拠点の利用者想定
1	一般県民が施設見学などを通して、科学的トレーニング（視覚トレーニングやVR練習等）やIT機器のデモ体験ができるコーナーの設置	〇本県競技団体が指定する利用選手
2	リカバリー・疲労回復を促す機材等の導入による総合トレーニング拠点として整備	トップアスリート
3	拠点が主催する指導者向けセミナー（映像撮影、分析方法等の実演）による利用促進	彩の国アスリート育成プロジェクト対象者
4	映像撮影分析等の機材貸出	国体強化指定選手（少年、成年）
5	民間企業と共同によるデータ蓄積およびビッグデータ活用手法の開発による共同研究の推進	県内プロチーム所属選手
6	スポーツ拠点への寄付を講じた民間企業が開発した商材、サービスのサンプルテスト機会の積極的創出によるスポーツ成長産業化の促進	全国大会出場／県上位水準の選手
7	練習利用時の運動量・心拍数の測定・分析による練習の質の向上	マスターズ出場選手
8	学校保健体育科教育における指導方法の研究・発表機会の創出	全国大会出場／県上位水準の学校
9	育成強化方針・計画等作成支援（スポーツ科学サポート利用相談含む）	全国障害者スポーツ大会代表選手
10	競技別指導者内研修時の映像資料等の提供	〇上記選手のコーチ、指導者
11	一般的メディカルチェック・競技別メディカルチェックによる各種証明の発行	〇本県競技団体等が誘致する利用想定
12	追加検査、精密検査に伴うスポーツドクター、県内医療機関等宛ての紹介状を作成	海外選手（交流含む）
13	アスレティックリハビリテーション・ケアに伴うの測定・評価（リコンディショニング）	県外強豪チーム
14	パーソナルトレーニング（メニュー作成）サポート	ナショナルチーム
15	グループ／団体利用時のトレーニングサポートや講義の実施	大学生チーム
16	WADA-ISEに準拠したスポーツの価値教育の展開（JADAと連携したエデュケーター養成機能）	実業団チーム
		パラアスリート
		〇その他、一般スポーツ愛好者等利用者

2（2）強化施設		
	計画施設	施設要望
	体力測定室（基礎体力の測定等）	プライバシーに配慮した医務（救護）室、検査室等の設計、トレーニング室（アスリハやケア）との連絡、温度・湿度コントロールができる機能を付与、測定時の振動対策、掘り込み式トレッドミルの設置、動線を考慮した更衣室の配置
	形態測定室（身長・体重、四肢長、周径、体組成の測定等）	
	健康検査室（メディカルチェック、健康診断等）	
	呼吸器系測定室（最大酸素摂取量等の測定）	
	筋系測定室（筋力、筋パワーの測定）	
	情報分析室（映像、データ分析）	各所測定データ等の集約・蓄積による分析効率の向上、映像編集、各種データ分析用PC、タブレット等の設置、貸与
	ゲーム分析用体育館（ゲーム分析、動作分析）	壁面への大型スクリーンの設置、各種競技の利用を想定する（武道系、審美系、球技系（ラケットスポーツ含む）、クライミング壁等）
	アリーナ（ゲーム、戦術練習）	メインアリーナ： 4, 0 0 0 m ² 規模（5000人規模観客席）、サブアリーナ： 2, 0 0 0 m ² 規模 11 t 車搬入通路、機材用エレベータ
	トレーニング室（ストレンgstレーニング指導、サポート）	専門家によるリハビリテーションやコンディショニングサポートが提供できるスペース、設備の確保、器具機材庫
	低酸素室（低酸素トレーニング）	標高換算6000m相当の酸素環境までシミュレート（海外登頂者の安全対策を含む）
	多目的室（ストレッチ、スピードトレーニング、スタジオ）	多目的室：1, 0 0 0 m ² 規模、レッスン室（大鏡・音響・映像遅延再生システム）
	リカバリー室（交代浴、リラクゼーション、トリートメント）	リラクゼーションルーム、アイシング・圧迫安静時のリラクセススペース
	相談室（体力・栄養・メンタル相談）	カウンセリングルーム
	研修室（指導者研修、ミーティング）	カンファレンスルーム、大研修室（2 0 0 名程度収容人員が確保出来る広さで、2 0 名位収容可能とするために可動式仕切りが出来るようにする）、ミーティングルーム兼控え室、オンラインセミナー室（機材・照明・WEB会議アプリ）
計画外施設		計画施設以外提案施設
	施設管理	パントリー、警備室（公園一括警備、機械警備の場合は不要）、警備・警察・消防控室、倉庫、機械室、清掃室、事務室等
	ビジター関連	テナント（飲食、物販）、子育て支援室（おむつ替え、授乳室）、トイレ（シャワートイレ設置要望あり）、VIP 室、VIP ラウンジ、VIP 専用エントランス、ゲストハウス／交流スペース、ビクトグラム、ドーピングコントロール室、自習ルーム、ウェルカムホール／エントランス
	各種大会運営・広報関係諸室	上記を踏まえ、運営室、会議室、役員室、記録室、更衣室、ロッカールーム、審判控室、記者室、会見室、カメラマン室等に転用ができる諸室の設置
	主な活用のイメージ	項目
	アスリート支援関連	スポーツドクターによる検査・診断
		加療者へのアスレティックリハビリテーションやケア
		科学的トレーニングの導入
		デジタル技術やスタッフの派遣など工夫による県内拠点の支援
		映像分析の支援
		ドーピングコントロール
	競技関連	最新設備の整った施設利用による県内での合宿、測定会、講習会、日常練習、プロチームのアカデミー開催など
		海外や他県の強豪選手や日本代表クラスの選手との合同練習、強化選手の合宿、また県外選手との技術交流等
		県外のチームを招いての大会の誘致、宿泊先の提供
		データを利用した研修会や戦術ミーティング
	指導者・教員の資質向上関連	国内トップレベルの指導者を招いての練習会や競技別指導者講習会
		学校体育や部活動において指導者育成の観点から指導者育成拠点としての役割
		県内教員等を中心とした研修や実技、実践発表、授業研究等を行う場
		拠点施設等に設置している施設や機器の操作、利用セミナー

2 (3) 要望施設		
	競技別施設要望	複合的施設要望
	テニス・ソフトテニス：全天候型テニスコート（16面）	全天候型多目的フィールド（天然芝及び人工芝、多面整備）※複数の球技系団体からの要望
	ボクシング：ボクシングリングの常設、可動式サンドバック設備、鏡の設置	トレーニング、リハビリ、クールダウンに使える室内プール（50m／25mプール）
	レスリング：レスリングマット敷設	トレーニング、リハビリ等に使える130m程度の室内全天候直走路（6レーン程度）
	ウエイトリフティング：プラットフォーム（10カ所）	ランニング・ウオーキング・サイクリングコースの整備
	空手：アリーナの複数設置、競技マット敷設（常設希望）	ランニングステーションの設置
	ボート・カヌー：漕艇用スイムミル	ビーチスポーツ用コート（多面整備）
	自転車競技：国際基準の250mバンクドーム	リカバリー系、医務系施設要望
	スケート・アイスホッケー：スライドボード、スケートミル、インラインスケートの練習可能な舗装リンク（1周200m～400m）、フィギュア練習場	応急的な医療施設、アイシング用製氷機の複数個所整備
	バスケットボール：アリーナ（コート4面分）、3×3コート	合宿中に利用できる仮眠室、リカバリー機材（酸素カプセル等）の整備
	ハンドボール：アリーナ（20m×40m）	MRI検査やCT検査ができる施設
	山岳クライミング：自然の岩場を模した人工的な岩壁や急傾斜面、総合クライミング壁（スピード・ボルダリング・リード）	健康増進施設要望
	アーチェリー：全天候型アーチェリー場	芝生等の運動広場、健康増進や心身のリラクゼーションのための施設（足湯やキャンプ施設）
	射撃：ビームライフル射場、エアライフル射場、小口径射場	一時保育や授乳室・入園児等のプレイルーム
	フェンシング：専用のアルミピストを敷いた施設	
	上記施設の整備に際しての留意	
	アリーナ規模はさいたま市記念総合体育館よりも大きい施設を整備	武道競技の特性を考慮した床材整備
	すべての施設をバリアフリー化（スロープ設置等）	健康のための諸施設の整備も検討
	競技関連備品の整備および保管倉庫の設置	施設内におけるWi-Fiの完備（リモート会議等に対応）
	審判員、報道等関係者諸室に使える会議室を多く整備	大会記録等を保存、展示する機能、設備
	県立武道館（相撲場）等の既存施設の機能強化および改修	十分な換気機能を備えた冷暖房空調の完備
	若い世代の人達がスポーツ活動に参加し易い施設づくり	

3 (3) 宿泊施設	
	項目
	○宿泊施設の規模、配置に関すること
1	競技団体等による全国大会や国際大会誘致を想定した大型宿泊施設の整備
2	感染症等の感染リスクを低減するため、シングルルームの部屋数を多めに整備する
3	宿泊棟、ミーティングルーム、トレーニングルーム、各種グラウンド等練習場への導線がコンパクトになるよう配置する
	○宿泊施設の機能に関すること
4	アスリート利用を前提とした施設として部屋、ベッドサイズは大型のものを整備する
5	宿舎内にテレビおよび無料の無線LAN設備を整備する
6	宿舎内ミーティングルームには、大型モニターや映像分析設備、ホワイトボード等の備品を整備する
7	宿舎内ミーティングルームは、各種分析活動の利用に供することを想定し、深夜時間帯においても利用できるようにする
8	一部個室は低酸素室機能を整備することにより、早期の高地順化促進による人体機能の向上を図る
	○レストラン機能に関すること
9	宿泊に伴うレストラン利用においては、アレルギー対策や階級制競技、審美系競技の特性を考慮しバイキング形式を導入する
	○宿泊施設の利用調整に関すること
10	宿泊予約と併せて、周辺競技施設利用やサポート利用の予約等を一元的に行えるシステムを導入する
11	合宿等利用が他団体と重なる場合の宿泊者数の配慮や調整

4 (2) オフィス意向				
競技名	区分	意向	主な理由	要望・条件
08バレー	PF	「ある」	迅速な運営ができるため	無償、もしくは安価での利用
10バスケットボール	PF	「ある」	スポーツ協会との素早い連携、スムーズに事業に取り組める、県内から集まりやすいため	
12セーリング	PF	「ある」	資料、用具等一括管理のため	
13ウェイトリフティング	PF	「ある」	情報発信基地とするため	金銭的な問題
15自転車	PF	「ある」	事務局運営に支障をきたすため	競技団体の実態に伴う利用料金設定や減免措置を要望
16ソフトテニス	PF	「ある」	団体の運営拠点としては必ず必要なため	広めのスペースと競技別倉庫を希望
17卓球	PF	「ある」	法人化に伴いガバナンス、危機管理、他団体との連携、情報共有等の観点から必要なため。資料等貸出の拠点としても必要なため	
18野球	PF	「ある」	情報の共有等がスムーズになるため	
22柔道	PF	「ある」	小規模会議開催スペース確保のため	使用料との兼ね合いによる
24バドミントン	PF	「ある」		スポーツ団体の実態に沿う利用料金の設定や減免処置
25弓道	PF	「ある」	活動拠点と近いところに事務所を設置することが利便性を高めるため	
27剣道	PF	「ある」	会議室等の利用が容易になるため	広いスペース、安価な賃借料を望む
29クライミング	PF	「ある」	法人格取得に伴う事務所機能の手当のため	各団体の実態に沿う利用料設定や減免措置を配慮してもらえれば入居を希望
32空手	PF	「ある」	事務局が定位置にあることで連盟の運営がスムーズになるため。他団体との情報共有ができる。	賃貸料金は安くしてもらいたい
35なぎなた	PF	「ある」	個人で保管している連盟所有の備品や大会用品などの保管場所とするため	利用料金、面積にもよる
39アイスホッケー	PF	「ある」	オフィスがあると連絡や相談等緻密に行えるため。	
43トライアスロン	PF	「ある」	書類保管などが難しくなっているため	(資金が限られている)ことから、賃料を減免していただけるとありがたい
45武術太極拳	PF	「ある」	上部組織、下部組織への事務処理はオフィスが不可欠なため	
51小体連	学体	「ある」	団体運営や危機管理等の観点から必要になる可能性があるため	
53障害者スポーツ	統括	「ある」	健常、障がいにかかわらずスポーツを行える環境、連携を行っていくため	
03サッカー	PF	「ない」または「無回答」	既に事務所(予定地)がある	条件(家賃・電力量等)考慮し、移転のメリットがあれば検討
04テニス	PF	「ない」または「無回答」		賃料等は現状並みに維持してほしい
14ハンドボール	PF	「ない」または「無回答」	専任事務員を配置できない	スポーツ協会に教員などから出向できるシステムを希望

5 その他、意見等	
	項目
	○機能、事業について
1	知力、徳力、体力を向上させる拠点施設として教育的機能の充実を図る
2	ドーピングに対する認識を醸成する機能として、JADAと連携しアンチ・ドーピング教育の国内中核拠点として整備
3	武道を含めた様々な競技の熟練者の動作やパフォーマンスを科学的に解析し、科学的な分析やわかりやすい考察をベースに実証研究が行えるようにする。
4	実証研究等で得られた知見を基に、次世代アスリートの発掘・育成や競技実施者の指導支援に繋がることが望まれる
5	県内に拠点施設がある競技にあっては、各競技特有の測定・フィードバック・トレーニング指導等については、県内各拠点において行えるようスポーツ科学拠点施設と連携して実施されることを期待
6	競技の特性を踏まえたトレーニング方法、練習方法、ゲーム分析等が一体的にできる仕組みの構築
7	測定後に、フィードバックが行われ、必要に応じて、個人／団体毎のトレーニングメニューの提案が行われるようにする
8	県内各競技拠点や競技大会に対してスポーツドクターや専門家を派遣できる仕組みの構築
	○運営体制・利用方法について
9	複合施設でありながらも、関係者の連携・協力関係により競技団体や利用者にとってわかりやすい一元的なサービス、利用ができる体制の整備
10	年間を通して、競技団体や指導者、一般利用者等が、設備備品等の利用やデータ活用や相談・助言が受けられる体制（医科学の専門家の常駐等人員の配置含む）の構築
11	競技力向上面以外にも、スポーツを愛する人々の利用も積極的に考えた施設整備
12	公園内各種施設の利用調整・申込が一体的にかつ煩雑にならないよう運営を工夫
13	個人や大小様々な団体の利用形態に対応できる体制
	○施設整備にあたっての留意点について
14	床材の選定にあたって、武道では硬質木材を希望、様々な競技に利用可能な物を導入する
15	障がいの種類によっては、発汗による体温調整が難しい者もいるため、すべての施設の空調設備を完備し、ユニバーサルデザインを徹底する
16	昨今の「アスリートへの写真・動画による性的ハラスメント」を含め、各種ハラスメントの防止キャンペーンや施設内における盗撮防止対策を講じる

6 上尾運動公園再整備		
	上尾運動公園の再整備イメージ	提案項目
1	次世代スポーツパーク構想	次世代スポーツパーク（多機能複合型拠点）として開発することにより、必要な拠点が集積しゆとりある"魅力的な拠点"を構築し、新たな技術の活用などによる"先進的な共助"を実現する次世代の拠点を整備する。プロフィットセンター化による持続可能なスポーツ推進システムの実現を目指すとともに、健康寿命延伸、食材ロス抑制、将来の技術革新や制度変更に応える柔軟なパーク整備による民間投資や寄付の呼び込みを図る。また、スポーツ団体やスポーツベンチャー企業等を対象としたスマートオフィス整備を図ることによる、少子高齢化に伴う人材不足に対応できる次世代型拠点とする。加えて、コンパクト・スマート・レジリエンスを満たすスポーツを通した次世代の県民生活支援拠点と位置づけた「次世代スポーツパーク」の整備を目指す。
2	アクセシビリティの改善	バス往来本数の安定化のための施策、国道17号線や公園周辺道路交通状況の改善施策、公園南側の車両交通量の比較的少ない地帯に新モビリティ（無人シャトルバス）による新たなアクセスルートを開拓し、ニューシャトルからの利用者を誘引する（原市駅、沼南駅）
3	安心・安全な公園の整備	子育て世代（特に女性）やその子どもたちが安心してスポーツ、健康に取り組める託児、育児等の福祉施設の整備、各種運動専用コースの設置や時間帯による車両進入規制による歩行者天国の整備。歩道等拡張による安全確保、ナイター照明、街路灯の充実による防犯、県央防災拠点としての災害時の基幹機能（自家発電や自然エネルギー供給機能）の確保と教育機能の整備
4	公園施設等の一体的な経営・運営による収益性の向上	産学官民で構成する公園運営組織による一体的な開発と運営（プロモート含む）、利用調整のワンストップ化、スポーツ関連産業の人材育成拠点として、組織・団体のリーダーや次世代スタッフの重点的育成や長期研修等による人材登用（人事）制度を基盤とする戦略的なスポーツ推進施策の導入。
5	県民憩いの空間の創出、利便性向上	レストランやカフェの設置、コンビニエンスストアの設置、東西に分断された公園を効果的に接続し、利用者の周遊性、利便性を改善する。東西の公園全体を活かしたウォーキング、ランニング、サイクリングコースの整備、既存施設の補修、改修による機能強化、公園利用者や周遊者への効果的な情報発信機能の付与によるリピーター獲得、駐車スペースの拡張
6	県民の生きがいやQOLの向上	スケートボード等のアーバンスポーツにみられる組織力の比較的小さい団体もしくは個人利用を中心としたスポーツを支援する。多様性を基調とした誰もが使いやすいユニバーサルデザインによる整備方針、社会人等を対象とした各種講座の開設、各種県民、近隣市民イベントの開催スペースや文化芸術とスポーツの交流スペースの整備
7	県内企業等との連携	大型ショッピングモールとの周遊性確保、近隣事業者（ブリジストンサイクル等）とのコラボレーション事業や拠点整備、ネーミングライツの導入、プロスポーツチームによる社会貢献機会の場やスポーツ活性化の取り組み推進、プロ選手等のセカンドキャリア支援、Eスポーツ環境の整備支援
8	県外需要の取り込みによる地域経済の活性化	武道を核としたツーリズムや国際交流、上尾シティマラソン（世界陸連及び日本陸連公認コース）を活かした国内外訪客の促進、県外利用者の積極的な取り込みによる資金獲得チャネルの開拓、中央競技団体等ナショナルチームや県市町村友好都市との交流事業における積極的な利用誘致による海外への広告宣伝効果への期待
9	国や大学との機関連携の推進	日本スポーツ振興センター（JISS含む）との人事交流や情報連携を図る。中央競技団体との共同事業による次世代アスリート発掘・育成への支援協力。大学とのクロスアポイント制度による連携やインターンシップやボランティアの積極的な受入れ